

## 新潟開港150周年記念

### みなとまち新潟 歴史探訪④

岡歴史文化課(☎025-226-2584)



#### 江戸時代の新潟湊は大にぎわい

江戸時代の新潟湊には多くの船が出入りしました。写真は、北前船や回米船などさまざまな船でにぎわう新潟湊を描いた「大船絵馬」です。

「北前船」は、江戸時代中期から明治時代にかけて、北海道や新潟などの日本海沿岸と大阪を

結ぶ航路で活躍しました。

北前船の船主は新潟で米などを安く買い、ほかの場所で高く売ろうと考え、越後各地から川舟によって新潟湊に集められた米などを北前船で大阪や北海道などに運びました。一方、新潟湊には大阪や瀬戸

内から塩や古着などが運ばれ、川舟によって越後各地や会津などに届けられました。

このように、江戸時代の新潟湊は海と川を行き交う船をつなぎ、多くの物資が流通する重要な場所でした。多い年には約3,500隻の船が出入りし、回船問屋や料亭、芸妓が活躍するなど、日本海側屈指の湊町としてにぎわいました。



歴史博物館みなとぴあに展示されている「大船絵馬」(白山神社蔵)の複製の一部